

みなさんくやしいです。

今年度の

のたろんフェアが中止になりました。

例年、参加団体 100 団体以上、  
来場者数 6000 人あまり、  
横須賀の市民活動を知る 2 日間「のたろんフェア」

2月13日(土)・14日(日)に  
開催予定だった「のたろんフェア 2021」は  
新型コロナウイルス県内の感染者数の  
増加を受け、中止となりました。

のたろん  
新春★号

(( すかっこの 市民活動情報 ))

のたろんフェア 2021 実行委員のみなさんからさまざまな声が聞かれました……

団体同志の交流ができる

たくさんの方の笑顔が集まる

ひとつのことをみんなでやるの楽しい

残念の一言

魅力満載のイベント

のたろんフェアが中止になってしまった…

少しくやしいです。

コロナウイルス バカヤロー！！

「諦める」よりは「明ら見る」

のたろんフェアはお祭りです。社会には私たちの活動が必要だ！っていう気持ちをさまざまな形で表現できるイベントです。そのような市民活動団体が熱い気持ち、楽しみな気持ちを胸に毎年100団体ちかく参加します。年に一度の2日間に向かって多くの人々のエネルギーが結集する、のたろんフェアの魅力はそれに尽きます。今回の中止はとても残念ですが、市民活動はみなさんの生活の中にあるもの、変化していく生活の中でこのような出来事もみなさんの活動にとって栄養になったらいいなって、良い効果が生まれればいいなと思っています。



来年再来年に向けて **StepUp!!**

新しいのたろんフェアの序章として、開催します。



来ても見れる  
家でも見れる **のたろんフェア 2021 月間**

サポセン館内に活動団体みなさんの活動紹介のポスターを張り巡らせます。  
また、のたろんといっしょに団体のみなさんも YouTube に挑戦しましょう！

### 動画づくりって難しいんじゃないの？

YouTube は、生活の中で情報源として大きな存在になってきています。市民活動にとってもこれからの広報ツールとして必須のツールになっていきます。

動画で見る活動の様子は、文字だけでは伝わらない雰囲気や空気感、そこに集まる人の人柄なんかも感じられて「あ、これならちょっと行ってみたいな」なんて人が増えるかもしれません。

「対面支援が難しいから一時的に…」だけじゃもったいない！オンラインを使っていくうちに、新しい活動、新しい出会い、なにかスゴイことできちゃうかも。

3分以内の動画をください。

ポスター・動画 募集しています！ くわしくは……



のたろんフェア  
のたろんジャーナル

## のたろんフェア実行委員 4Sクラブ

井上 愛さん

目立たないけれど、毎年きちんと親子仲良くのたろんフェア実行委員をつとめる井上さんに、お話を伺った。

昭和48年、横須賀市野比に生まれる。海岸近くの小高い丘の上、蛇がいるような裏山をかけずり回っていた。高校生の時、住んでいた場所にマンションが建つことになって、馬堀海岸に引っ越す。引きこもり気味になって、2年で高校を中退した。娘さんが1歳になった頃、同居するお母さんから「将来的に高校の卒業資格は持っておいた方がいいよ。孫はみてるから行ってきな」と言われ、横須賀高校の定時制に入学、4年間通って平成16年に卒業した。勉強はそんながんばらなくても卒業できた。学園祭の模擬店、韓国への修学旅行では現地の学生と交流したことなど、楽しい思い出がたくさんできた。

家の中にいるより、なにより出かけるのが好きという井上さん、娘さんが小さいときから、観音崎フェスティバル、デパートの催しなど、何かのイベントを見つけては参加していた。親子3代みんな旅行が好きで、日帰り旅行や一泊旅行にたくさん行った。箱根神社を訪れたとき、御朱印をもらい、その魅力に惹かれ、以来6冊の御朱印を集めている。鎌倉を巡ったり、京都旅行したり、浅草神社は何回も通っている。お寺の御朱印はシンプル、神社は、イラストなどがきれいという。

ある日、行政施設に置いてあった「歩け歩け」のチラシが目にとまった。外に出て歩いて、さらに鎌倉などに行けば、御朱印ももらってくることもできる。歩け歩けでは、鎌倉を回ったり、17キロも歩いたりしていた。そして、同じようにチラシから、のたろんフェ

アの実行委員募集を見つけた。イベントだし楽しそうと応募。以来、スランプラリー担当のエキスパート、今年まで9回の実行委員。娘さんが高校生に行ってから「一緒にやらない？」と誘って、親子一緒に務めている。



「前は、病気とかいろいろあって、ほとんど仕事という仕事をしていなかった。」

転機は40歳の頃。ショッピングプラザのフードコートで働いて、その後、ダブルワークもした。「今は回転寿司屋だけだけれど、またチャンスがあったらダブルワークしたい」。娘さんが成人して仕事について安心。仕事に市民活動に意欲的だ。アウトドアの活動だけでなく、芸術劇場の第九の合唱にも参加し、数回の舞台を踏んでいる。厳しい練習をこなしながらフェアの準備に携わるのは大変だったが、大きな舞台に立つのは気持ちのいいものだった。

横須賀は、海があって山があって、自然が素晴らしく、ほどほど便利で、住みやすい場所という。やってみたいことは「四国88箇所巡りや、京都の鈴虫寺に行ってみたい。4Sクラブの仲間と鎌倉を散策したい。」合宿免許を取りに2週間石川県にいたときに重度のホームシックにかかった程の横須賀好き。四国でホームシックにならないか心配だけど、これからも市民活動に、プライベートに、楽しく自然体で過ごしてゆくのだろうと思ったインタビューでした。

(はこぎき)

## 団体紹介

### 団体名 4Sクラブ

4SクラブとはSenior Saposen Support Systemの略称。中・高年の方がこれまで長い間培ってきた社会体験及び生活体験を、これからの市民活動に生かしてもらおうための支援グループです。市民活動体験話を聞く会「いきいき市民塾」を開催したり、趣味では終わらせない「俳句の会」などの勉強会をおこなったりしています。サポセン主催のイベントのお手伝いもしています。



プレレレ



はい、もしもし、市民活動サポートセンターぬまちゃんです。あら、のたろん。今日は珍しく電話してくれたのね。どうしたの？



ぬまちゃん！コロナウィルスで大変で我慢でー、のたろんはお家でじっとしているの寂しくなっちゃったー。早くみんなと色々な活動したいよ。どうしたらいいのー。



そっか、のたろんは今は市民活動を自粛しているんだね。もちろん、感染拡大を防ぐことは、とっても大事だと思う。でも市民活動の支援を必要としている人はいるわけで、考えられる限りの感染拡大防止対策を講じた上で、必要な人に支援を届けたいと思ってるなあ。



そうなの！？緊急事態宣言の時にのたろんが参加していた活動はみんなお休みになっているから、コロナウィルスがこの世からキレイさっぱり消えてなくなるまでお家でじっとしていないといけないと思ってたよ！市民活動してもいいんだ！？



そうね、活動場所の拠点がある団体や感染防止対策をとれる団体の活動はかなり戻ってきているような印象があるのよ。ただ活動先が学校や施設に訪ねていくことになるような団体は、まだ本格的に活動を再開するのが難しいのが現状かな。



誰か感染者が訪問先で出た場合、その場所の責任を持っている人が「クラスターだ！」って言われちゃうもんね。仕方ないよね。



感染が怖いのは、病気自体もちろん怖いけど、周りの人から非難されたり差別されるんじゃないかってそれが怖いのも大きいと思うの。完全に感染を防ぐことはできなくても、そういう偏見や差別をなくすることが市民活動をしている私たちにできることなんじゃないかなと思ってるんだ。



すごいぬまちゃん！のたろん感動した！電話して良かった！ばんざーい！エル・オー・ブイ・イー・ぬま・ちゃん！



えっ、そ、そう？のたろんのテンションがすごいけど…。でも私ものたろんとお話できて元気が出てきた。ありがとうね。



やっぱりさ、市民活動って会って話して、みんなで一緒に何かして、そういうことで楽しかったり嬉しかったりしたんだあって思うんだ。早くぬまちゃんにも会いたいなあ。



ふふふ、サポートセンターは感染防止対策をして開館しているから、会いに来てくれていいのよ。市民活動はコミュニケーションの活動だから、会うってことはとても大事だと思うなあ。でもまだ会いづらい集まりづらい状況は続きそうだから、サポセンとしてもオンラインツールの講習会をしていこうと思ってるの。今は、できないことを数えるんじゃなくて、できることをひとつずつやっていくことが大事だと思うの。



すごい！そうだよ！ゆうきでた！ぬまちゃんゆうしようー！

誰か感染者が訪問先で出た場合、その場所の責任を持っている人が「クラスターだ！」って言われちゃうもんね。仕方ないよね。

………ああ…ヒマだなあ………  
と、いきなり失礼いたしました。  
(A)

本日、筆者は横浜にある「陸運支局」というところに来ています。ご存じの方もおられるかもしれませんが、この「陸運支局」、いろいろなところから自動車を持ち込まれてくるところで、自動車の検査や登録などの手続きをするところなんです。

別に遊びに来ているんじゃないんですよ。決して、「車を眺めるのが好き」とか、「排気ガスバンバンの空気を吸いたい」とか、「オイルのにおいがたまらない！」とか、そういうことではないんですよ。お仕事です。お仕事。  
な・の・で・す・が…仕事は予想よりも早く終わっちゃって次の予定まで時間が空いてしまったのでどうしたものかと…うん…

と、やることもなくトボトボと陸運支局の敷地を出て周りの小径を歩いていたら、道に沿ってせせらぎを発見…水の音を聞くとなんで心が落ち着くんじゃあね。ほんと思議。音に引き寄せられるようにせせらぎに沿ってテクテク歩いていくと、視界の隅、水の中に朱色とか黒とかの見慣れた生物が…

そう!! ニシキゴイ!!

思わず行き過ぎた道をムーンウォークで後ずさりしてその存在を確認してしまいました。はたから見たら完全に不審者…(汗)

通報されていないことを確認しつつ、足元で悠然と泳ぐ錦鯉たちをじっくり観察です。なかなかの大きさ…しかも小さい魚もいるということは繁殖しているのか…?ここに錦鯉を泳がせようと思った人…グッジョブ👍。

その日はその後も変なテンションを保ちつつ、仕事は無事に済ませることができました。やっぱり、錦鯉って良いものですね、  
え?ちなみに筆者の仕事は何かって?

お団子食べて錦鯉を飼いながらコラムを書きつつたまたま書類を作る「代書屋」です(笑)。

(小串滋彦)

世帯錦鯉

第8話

今日はマジメにお仕事中心?



\*\*\*\*\* サポセンtopics トピックス

やります! 市民活動団体支援交流会

コロナ禍での市民活動を考える!

コロナ禍で、それぞれの活動は自粛を余儀なくされ、様々な制約の中で活動されていると思います。横須賀で活動している団体が今どのような状況なのか、情報交換をし、これからの活動の展望をみんなで考えましょう。《要予約(先着各回10名)》

日時: 1月23日(土)  
第1回 10:00-11:30 / 第2回 16:30-18:00  
場所: サポセンミーティングコーナー

サポセンは、福祉、まちづくり、文化、環境、国際、災害救援など、あらゆる分野の市民活動をサポートする施設。通常9時から22時、土日も開館。印刷や打合せなどができます。

- ◆サポセン情報発信サイト「のたろんジャーナル」
  - ◆Eメール info@yokosuka-supportcenter.jp
  - ◆サポートセンターのホームページ
- 「のたろんWeb」は「のたろん」で検索♪



のたろん 検索

情報誌「のたろん」新春号(通巻85号) 2021年1月1日

発行 横須賀市立市民活動サポートセンター  
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート  
横須賀市本町3-27(京浜急行汐入駅徒歩1分)  
TEL 046-828-3130  
FAX 046-828-3132



市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

編集ボランティア/はこぎき・みずたに・おぐし  
スタッフ/ぬまさき・のぎむら